

関東大会壮行会 (5/22)

関東大会に出場するウエイトリフティング部の壮行会を行いました。金澤寛希(大子中出身), 小室かおる(生瀬中出身), 小室ちひろ(生瀬中出身)の3名が6月2日(金)に行われた大会に出場し, 金澤寛希が7位に入賞しました。毎日, 自分との闘いに励んでいます。今後も応援よろしくお願ひ致します。



1 学年進路ガイダンス (5/23)

5月23日(水)の5, 6時間目に, 1年生を対象に講師の方をお招きし, 働くとはどういうことか?について考え, コミュニケーション能力をアップするための講座が開かれました。生徒は寸劇を観たりゲームをしたりすることで, 人とのコミュニケーションの仕方について楽しく学ぶことができました。



2 学年マナー講座 (6/1)

6月1日(金) 1時間目に2年生を対象として, 集団の中で仕事や生活をするうえでのマナーや社会人としての素養を身につけるためのマナー講座が開かれました。普段の自分の言葉遣いや礼儀作法を振り返り, 高校生のうちに身につけるべきことについて考えることができました。



~憧れの先輩からのメッセージ~

卒業生の安嶋千晶(平成26年度卒)先生が3週間(6月5日~23日)の教育実習を行っています。早稲田大学に在学中で, ウエイトリフティングの選手として日本を代表する活躍をしている先輩です!是非, たくさん話を聞いてみましょう♪

Q. 高校時代は, どんな高校生でしたか?

A. 「やる時はやる!」高校生でした。やらなければならないことと, やると自分で決めたことは人の何倍も努力しました。そして, その他のことは家族や友人に支えてもらった3年間でした。周囲の人には今でも感謝しています。

Q. 高校時代に, 頑張ったことは?

A. 何よりも部活動(ウエイトリフティング部)を頑張りました。負けるのが大嫌いで, 「どうせやるなら日本一」と目標を掲げ, 「気持ちの優しい力持ち」をモットーに3年間夢をひたすら追いました。辛いことの方が多いりましたが, その分たくさんのものを得ることができました。

在校生へ

高校3年間はあるという間です。頑張っても怠けていても同じ3年間です。大人になって高校時代を思い出した時, 何か1つでも頑張ったことを思い出せると力が湧いてきます。何事にも一生懸命取り組み, 将来の自分に力を上げられる高校時代を送ってください。



早稲田大学
スポーツ科学部
4年 安嶋千晶先生

校内外，清流生の躍動！

地域の人々と…

常陸国YOSAKOI祭が5月19日(土)・20日(日)に開催され、本校生徒がボランティアとして参加しました。30度近い気温が続いたこの週でしたが当日は気温20度と過ごしやすい気候でした。それでも出場者方々は汗いっぱい。本校生徒は給水係や受付など地域のスタッフと協力してイベントの運営に尽力しました。

普段から一緒にいる仲間と、普段はなかなか交流の少ない地域の方々と共に作業をすることで、協力することの重要さやコミュニケーションの大切さを学びました。



お昼のひととときに



5月16日(水)お昼休み、吹奏楽部によるランチタイムコンサートが行われました。まだ入部後間もない1年生を含めた総勢25名による演奏で、お昼のひとときを華やかにしてくれました。

1年生は少し緊張した面持ちで演奏が始まりましたが、1曲ごとに緊張がほぐれ、最後の校歌演奏後には笑顔がみられました。1ヶ月後に迫った野球応援や夏のコンクールに向けて、今後も素晴らしい演奏を期待したいですね。

部活動報告

◇野球部 珂北大大会(6/1,2) 於：高萩市民球場

太子清流 5-0 勝田工

太子清流 4-11 明秀日立

◇ウエイトリフティング部 関東大会 於：松戸国際高校

男子 77kg級 スナッチ 103kg C&J 115kg

トータル 218kg (7位)

◇インターハイ水戸地区予選

バスケットボール部(5/31~6/2) 於：笠間市民体育館

男子 33-85 茨城東

女子 29-107 那珂

サッカー部(5/16) 於：ひたちなかスポーツ広場

太子清流・茨城朝鮮・小瀬合同 1-1 海洋

(PK 2-3)

ソフトテニス部

於：見川総合運動公園・ひたちなかスポーツ広場

男子団体 0-3 桜ノ牧 3-0 水戸一

男子個人 3回戦進出

女子個人 2回戦進出

5月17日(木)の放課後、3学年対象の公務員希望者説明会が行われました。講師として、本校卒業生で現在大子町役場に勤務している藤田美沙都さんをお呼びして、お話を伺いました。

藤田さんからは、実際に自分が高校3年生だった



時、どのように学習計画を立てたのか、試験に臨む際にどのような準備が必要なのかなど、経験を元に話して頂きました。年齢の近い先輩の話ということもあり、質疑応答なども交えながら、真剣な表情で話を伺っていました。

先輩から後輩へ